



明石市立江井島中学校通信

# しまっかが宝

令和2年  
(2020年)  
6月29日  
第6号

学校長 植垣 文夫

## 避難訓練 (2020年6月22日(月))

避難訓練を実施しました。360 人もの生徒の皆さんがグラウンドに集合して整列、点呼、着座、担任の先生の確認、学年主任の先生の学年全体把握、校長先生への報告という一連の動作が、放送による避難指示後、5分間で完了しました。つまり、午後3時10分には完了したのです。被服室横の階段から皆さんの動きを観察していました。避難移動時に話をする人はいませんでした。担任の先生を先頭に全員で足早に移動できました。運動場で校長先生が全体を掌握するまで静かに座っていることができました。本番さながらによく



できたと思います。実際にしっかりと「そのとき」に行動できるかどうか

は訓練時の真剣さにかかっています。試合で勝つためには地道な毎日の稽古を継続させることが必要であることと同じですね。「そのとき」が来ないことが一番ですけれども、「そのとき」がきたとしても、訓練時にできたことと同じ行動がとれるようにしたいですね。考えて行動する。「行動」よりも一歩進んだ「考動(こうどう)」が求められています。

### 【参考】運動場でお話した「令和2年度避難訓練の校長講評」の概要です。

本日は6月22日です。1学期の早い時期に大切な皆さんの命を守るための避難訓練を実施しようと先生方に計画していただいていたところ、国が定めた「防災の日」は9月1日です。それでは、なぜ、9月1日が「防災の日」なのでしょう。それは、今から97年前の1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分に南関東を中心に発生した震度6(マグニチュード7.9)の巨大地震である関東大地震ともよばれる関東大震災を忘れないために設けられた日だからです。さて、みなさんは、今日の避難訓練の目的と目標を知っていますね。

今日は、それぞれの行動を振り返って、目的を達成するための目標に近づくことができましたかどうか検証してみてください。最近、特に集中豪雨による水害が増えています。集中豪雨は狭い地域に限定して起こるため、予測が困難です。また、紀伊半島沖を震源とす

る東南海・南海地震は、今世紀前半には必ず発生するとまでいわれています。帰宅後には、突然の災害に備え「そのとき」がきたら、どう行動するのか、ご家族で話し合いの機会を作ってください。そして、日ごろから「防災」「減災」について考え、持ち出し品や避難場所などをチェックしておきましょう。

## 生徒総会 (2020年6月24日(水))

本来なら、5月頃に行われる予定の生徒総会を本日(6月24日)に行いました。新型コロナウイルスのために開催時期が遅れ、体育館での総会ができないので、各クラスで議案についての賛否を聞き、その結果を各クラスの委員長が赤い画用紙を持って中庭に待機している生徒会役員に伝達し、放送室に待機している本部役員に伝えるという方法で行いました。初めての試みでしたが体育館への入退場などの動



(教室での協議の様子)

(放送室の様子)

(協議結果報告の画用紙掲示)

きがなかったので、大変スムーズに時間を短縮できました。(これぞまさに「遠隔リモート生徒総会」)すべての議案が可決されましたので、「民主主義」に基づいてみんなでしっかり生徒会を盛り上げていきましょう。

## ソーシャルディスタンス (社会距離拡大戦略) (2020年6月25日(木))

教頭先生がネット情報から縮尺を計算し、養護教諭の先生が愛情込めて彩色してくださいました。生徒玄関の正面に掲示してあります。「新しい生活様式」の中で、人と人との距離をとるのが難しいですね。「ソーシャルディスタンスを2メートルとりましょう。」と報道等でも言われても2メートルがどれだけの長さなのかは具体的に示していただかないとわからないものです。本マグロの大きさが200センチメートル、つまり、2メートルだそうです。今にも泳ぎだしそうな本マグロです。周囲には、明石市に縁のある魚や海の生き物がいます。探してみてください。「江井島」の由来になった「えい」もいますよ。

